

subject  
課題

商品の一貫生産に対応すべく  
高効率化を目指す

商品の製造加工からパッケージングまでを一貫して請け負うこととなり、生産ラインの最適化を検討。さらに、12分ごとに1パレット完成する商品の仮置き場の改善を検討課題としました。



solution  
改善策

AGFの導入とともに  
商品の仮置き場拡大を検討

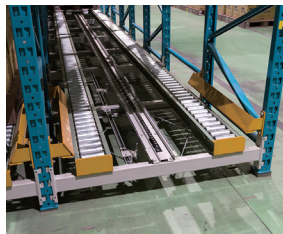
省人化のため無人フォークリフトの導入を検討し、将来の倉庫拡張に備えて床面工事不要のレーザー誘導方式を選択。AGFとともに60パレット収容可能なオートスルーラックを運用。



result  
効果

オートスルーラックとの併用は  
最適の選択でした

AGFは1日約16時間稼働。生産側と倉庫を1日に何十往復もピストン運転する必要がなくなり、作業員の負担が大幅に軽減しました。



障害物センサー&障害物バンパー

万が一のトラブルを防ぐため、障害物センサーと障害物バンパーが取り付けられており、安全性は申し分なし。障害物を感知し停止しても自動復旧するので使う側のストレスもありません。



営業担当

ロジスネクスト中部株式会社  
三岐支社 松阪支店 支店長

やすおか ちから  
安岡 主税



ロジスネクスト中部株式会社  
三岐支社 四日市支店 支店長

もりた よしひろ  
森田 芳弘



今後三菱ロジスネクストさんには、屋外の路上でもレールを敷くことなく稼働し、そこから当社条件のトラックへの積み込み作業までを担うAGFが登場することを期待しています。

現在AGFで商品をオートスルーラックに搬入しているため、スループットの安定化に繋がっており、作業員の負担が大幅に軽減されました。オートスルーラックが満杯になれば、有人フォークリフトで搬出し、倉庫に搬送します。AGF+オートスルーラックにより、省人化、省力化、高効率化が実現できたことにはとても感謝しています。またAGFは1日約16時間、特にトラブルなく稼働しています。8時間駆動バッテリーを採用しており、昼勤と夜勤のインターバルで交換でき、稼働中のバッテリー切れのストレスもありません。

これらの課題に対して、三菱ロジスネクストさんから床面工事が不要のレーザー誘導方式無人フォークリフトと60パレット収容可能なオートスルーラックの組み合わせをご提案いただきました。将来、倉庫を拡張することを考慮した結果、この組み合わせが最適だと判断し導入に至りました。

一方で、省人化・省力化に加え、保管に関する課題もありました。それは商品や包装用資材の受け渡し場所が狭く、4パレット分しかストックができないこと。当工場では商品が12分ごとに1パレット完成しますので、フォークリフトの作業員は搬入出口を定間隔で確認に行き、満杯になる前に有人フォークリフトで商品を倉庫に搬送するため、1日に何十往復もしなければなりませんでした。

今回、レーザー誘導方式無人フォークリフト「ブラッターオート」+「オートスルーラック」の導入を決められた  
大山部長代理、下里課長、中川係長にお話を伺いました。

レーザー誘導方式無人フォークリフト+  
オートスルーラックは  
省人化・省力化を実現する最適の組み合わせ！

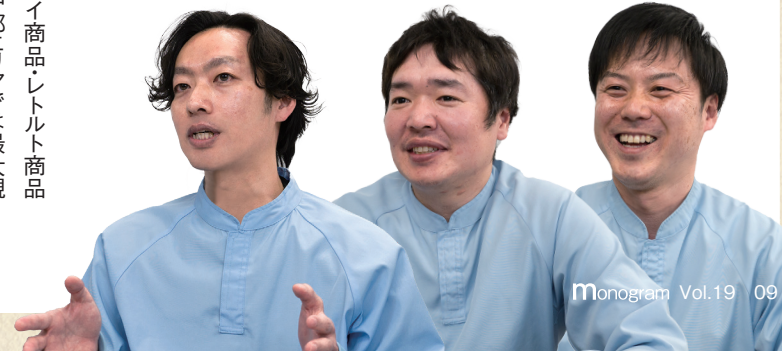
※永谷園フーズさまについてはP17の「ゲンバの女子力」でも取り上げさせていただいております。ぜひご覧ください。

自動倉庫化も視野に、床面工事不要の  
レーザー誘導方式を導入しました

オクス工場  
生産部部長代理  
おおやま たつおみ  
大山 竜臣さま

生産管理課課長  
しもざと りょうすけ  
下里 亮輔さま

生産管理課係長  
なかがわ ひろゆき  
中川 裕之さま



動画でCHECK!  
導入事例映像はこちら



CLICK